



おぐら  
尾倉

<校訓>  
自主  
創造  
協力



令和4年3月4日(金)発行  
校長 栗原博巳  
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号  
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

<学校教育目標>

豊かな心を持ち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなでつくる尾倉中学校～

<目指す生徒像>

- ① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
  - ② 健康で明るく、思いやりのある生徒
  - ③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
- ◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー

## 3年生を送る会が行われました！

まだまだ新型コロナウイルス感染症拡大が収束しない3月ですが、春を感じさせるやわらかな日差しになってきました。今年も3年生の卒業が間近に迫ってまいりました。

3月3日に生徒会が主催する3年生を送る会がありました。卒業を控えた3年生に向けて、1・2年生から感謝の気持ちを伝え、今までの中学校生活を振り返り、楽しい時間をともに過ごそうという目的です。生徒会役員が中心となって進行する送る会には、卒業生にこの3年間の思い出をふり返ってもらおうという「お楽しみ」の一面があります。今年も入学の頃のあどけない表情の自分たちがスクリーンに映ると、3年生席からどっと歓声が沸き、盛り上がりました。もう一つの目的は、卒業生と在校生が最後の心の交流をするということです。

コロナ禍の中、体育館には3年生と生徒会だけの参加でしたが、しっかり企画された内容で、3年生も喜んでいました。いよいよ3月10日が卒業式です。3年生にとって思い出に残る式になるように、全校で協力していきましょう。



参加した生徒会のメンバーです。



【生徒会長 江口さんより 在校生代表のことば】

今まで、尾倉中学校を支えてくださりありがとうございました。生徒会活動や部活動の中心が1・2年生にかわり、先輩方の存在がどれほど大きかったのかわかりました。今まで先輩方が頑張ってきた姿は、私たちの心にとまり、その姿をお手本とし、私たちも頑張っています。先輩方は、これからそれぞれの道に進むと思います。それぞれの道で、それぞれの夢に向かって頑張ってください。応援しています。(原文のまま)



【前生徒会長 下竹さんより 卒業生代表のことば】

今日は私たちのために、このような会を開いてくださりありがとうございました。例年のように3学年そろって行うことはできませんでしたが、卒業を1週間後に控えた私たちにとって、3年間を振り返り、たくさんの方々の支えを感じることができたよい機会となりました。忙しい中、この会の準備を進めてくれた生徒会執行部の方々、先生方、本当にありがとうございました。これから大変なこともあると思いますが、仲間と過ごせる時間を大切にしていってください。私たちも、残り少ない中学校生活の中で多くの人に感謝を伝えていきたいです。ありがとうございました。(原文のまま)



【3年生を送る会 校長先生より(当日は抜粋して話しました)】

3年生のみなさん、いよいよ3年生を送る会の当日を迎えることになりました。ちょうど1年前、先輩たちのために送る会の準備を中心となって頑張ったみなさんが今、送られる立場となりました。みなさんの温かな心が、今こうして1年の時を経て、再びみなさんのもとに戻ってきています。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3年生のみの開催となりましたが、今の気持ちはいかがですか。3年間の様々な思い出が蘇っていることでしょう。

あと7日で3年生は尾倉中学校を卒業します。3年生のみなさん、この3年間、尾倉中学校のために本当にありがとう。みなさんの日々の頑張りが今の尾倉中学校を創ってくれています。みなさんの成長が尾倉中の成長そのものでした。素晴らしい3年生でした。

そんな3年生のために1・2年生が限られた時間と限られた状況の中で精一杯3年生を送る会の準備をしてくれました。その姿には3年生への感謝の心があふれていると思います。どうか3年生にはその感謝の心を受け取ってほしいと思います。そして一生に1回しか経験できない尾倉中学校の3年生を送る会を心から楽しみ、みなさんの力で成功させて下さい。

生徒会をはじめとする1・2年生の皆さん、本日まで本当によく頑張りましたね。君たちのお陰ですばらしい3年生を送る会が開催できます。本当にありがとう。この会が終われば、3年生は卒業し、1・2年生が尾倉中学校を引き継いでいきます。

在校生の3年生に対する感謝という「心(こころ)」は決して目には見えないけれど、消えることなく永遠に残り続けます。そしてその「心(こころ)」の積み重ねがやがて良き伝統を創っていくと信じています。